

各 位

会 社 名 株式会社ネットプライスドットコム
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 佐藤 輝英
(コード番号 3328 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二
電 話 03-5739-3350

監査法人による当年度監査の過程において指摘された事項に基づく
過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ

当社が過去に発表いたしました有価証券報告書、四半期報告書、決算短信、及び四半期決算短信において、在外連結子会社を含む内部取引に係る為替換算差額の会計処理に誤りが発見され、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

訂正する有価証券報告書、四半期報告書、決算短信および四半期決算短信については、現在監査法人による監査を受けている最中であり、監査が終了次第速やかに提出し開示する予定です。

なお本件訂正による影響額は過年度における為替差損計上額として累計で約 116,000 千円を見込んでおりますが、当該影響額は、あくまで、現時点における概算であり、増減する可能性があります。

記

1. 訂正の経緯及び概要

株式会社ショッピングエアライン(以下、「SAL」という。)と Shop Airlines America, Inc. (以下、「SAL アメリカ」という。)並びに Shop Airlines Europe B.V. (以下、「SAL ヨーロッパ」という。)の3社は、すべて当社の連結子会社であり、従前より当該会社間においてグループ内での業務委託取引および資金の貸借取引等を行ってまいりました。

当該取引より生じる債権債務の残高は、事業年度末および各四半期末における連結決算手続において、当社の連結精算表上、相殺消去されることとなりますが、SAL アメリカは米国カリフォルニア州に本社を置く会社であり、SAL ヨーロッパはオランダに本社を置く会社であることから、外貨建取引等会計処理基準三 1.の規定に従い財務諸表項目の換算を行ったうえで相殺消去しており、為替の変動によりグループ内での債権債務に換算差額が生じております。

SAL アメリカおよび SAL ヨーロッパは設立以来 SAL が株式を 100%保有する子会社であり、当該換算差額がグループ内の内部取引により発生したものであることから、当社としては当該差額による影響を経営成績に影響させるべきではないとの判断により為替差損益として損益計算書には計上せず、為替換算調整勘定として純資産の部を直接増減させる会計処理を行ってまいりました。

この会計処理については、平成 19 年 12 月の当該取引の発生時から当社の会計監査人であります

有限責任監査法人トーマツ（以下、「監査法人トーマツ」という。）と協議の上で処理を進め、当該処理を含んだ連結財務諸表については監査法人トーマツの監査を受けた上で適正である旨の監査報告書を受領しており、過年度の監査の時点でも指摘がなされていなかったため、当社としては過年度の会計処理につき誤りがあるとは認識しておりませんでした。

しかしながら、本年3月23日に監査法人トーマツより、当該取引より生じた換算差額については、当該差額が生じた期の損益として処理すべきである旨の指摘を受けたため、当社の経理部門および内部統制部門にて調査を行いました結果、当該債権債務から生じた為替の変動による影響額については、為替換算調整勘定として処理を行うのではなく、為替変動が生じた期の損益として認識し、過年度に計上していた為替換算調整勘定を為替差損益として処理することが適切であると判断したため、過年度の取引発生時に遡って関係する有価証券報告書等を訂正することといたしました。

このため、平成20年9月期第1四半期から平成24年9月期第1四半期までの有価証券報告書、四半期報告書、決算短信、及び四半期決算短信を訂正する予定です。

株主・投資家及び市場関係者の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

2. 提出予定の訂正報告書及び訂正を行う決算短信等

1) 訂正報告書等

訂正半期報告書	第9期（平成19年10月1日～平成20年3月31日）
訂正有価証券報告書	第9期（平成19年10月1日～平成20年9月30日）
訂正四半期報告書	第10期 第1四半期（平成20年10月1日～平成20年12月31日）
訂正四半期報告書	第10期 第2四半期（平成21年1月1日～平成21年3月31日）
訂正四半期報告書	第10期 第3四半期（平成21年4月1日～平成21年6月30日）
訂正有価証券報告書	第10期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）
訂正四半期報告書	第11期 第1四半期（平成21年10月1日～平成21年12月31日）
訂正四半期報告書	第11期 第2四半期（平成22年1月1日～平成22年3月31日）
訂正四半期報告書	第11期 第3四半期（平成22年4月1日～平成22年6月30日）
訂正有価証券報告書	第11期（平成21年10月1日～平成22年9月30日）
訂正四半期報告書	第12期 第1四半期（平成22年10月1日～平成22年12月31日）
訂正四半期報告書	第12期 第2四半期（平成23年1月1日～平成23年3月31日）
訂正四半期報告書	第12期 第3四半期（平成23年4月1日～平成23年6月30日）
訂正有価証券報告書	第12期（平成22年10月1日～平成23年9月30日）
訂正四半期報告書	第13期 第1四半期（平成23年10月1日～平成23年12月31日）

2) 訂正予定の短信等

平成20年9月期	第1四半期財務・業績の概況
平成20年9月期	中間決算短信
平成20年9月期	第3四半期財務・業績の概況

平成 20 年 9 月期	決算短信
平成 21 年 9 月期	第 1 四半期決算短信
平成 21 年 9 月期	第 2 四半期決算短信
平成 21 年 9 月期	第 3 四半期決算短信
平成 21 年 9 月期	決算短信
平成 22 年 9 月期	第 1 四半期決算短信
平成 22 年 9 月期	第 2 四半期決算短信
平成 22 年 9 月期	第 3 四半期決算短信
平成 22 年 9 月期	決算短信
平成 23 年 9 月期	第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
平成 23 年 9 月期	第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
平成 23 年 9 月期	第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
平成 23 年 9 月期	決算短信〔日本基準〕(連結)
平成 24 年 9 月期	第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

3. 今後の対応について

過年度の訂正有価証券報告書等並びに平成 24 年 9 月期第 1 四半期報告書の訂正報告書につきましては、現在監査法人トーマツによる監査を受けている最中であり、監査が終了次第速やかに提出する予定であります。同様に、過年度の決算短信等、並びに平成 24 年 9 月期第 1 四半期決算短信についても、訂正の上、速やかに提出する予定です。提出は 4 月中旬を予定しております。

4. 本件訂正（過年度決算訂正）による業績への影響の見込み

現在、平成 20 年 9 月期第 1 四半期から平成 24 年 9 月期第 1 四半期までの為替差損計上による影響額の累計は現時点で約 116,000 千円を想定しており、各期への具体的な影響額、総資産および純資産の変動額については、監査法人トーマツによる監査を受けている最中であり、監査が終了次第、速やかに開示する予定であります。なお、当該影響額は、あくまで、現時点における概算であり、増減する可能性があります。

以上